

Well-being経営のご提案

ウェルビーイング経営とは



双方にメリットがあるWell-beingを目指す経営

個人 カラダの 未病 健幸 病気 未病 Well-being 思考と感情の両方 が満たされた状態

企業

イメージUP 人材確保 離職防止 メンタル疾患防止 生産性向上 医療費低減

ビジネスにおける

課題

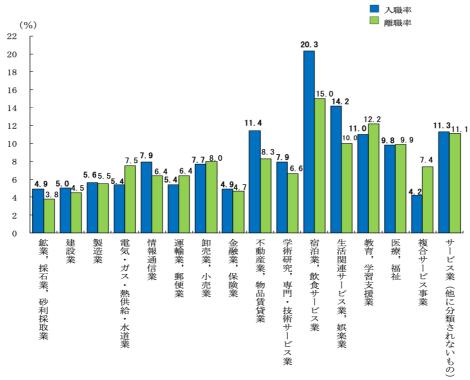


離職はこれから更に大きな問題に



業界によって大きな開きのある離職率。生産年齢人口が減っていく中で、入職率は低下していくことが予測されます。有能な人材がやめていく損失は、企業にとって更に大きな課題になっていきます。

産業別入職率・離職率(令和4年上半期)



出所:厚生労働省「一令和4年上半期雇用動向調査結果の概況 一」

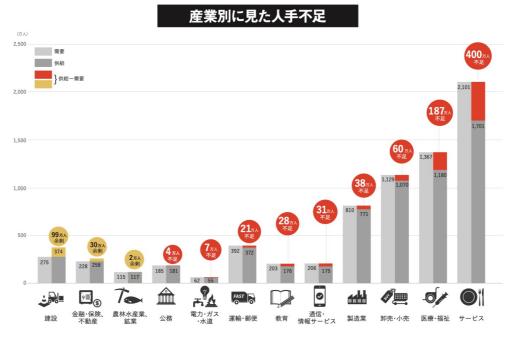


人手不足は避けられない現実



パーソル総合研究所と中央大学の調査によれば、2030年には7,073万人の労働需要に対し、6,429万人の労働供給しか見込めず「644万人の人手不足」となることが分かりました。 産業別において、特に大きな不足が予測されるのは、サービス業、医療・福祉業など、現在も人手不足に苦しむ業種であることが分かりました。

2030年にどのくらい人手不足になるのか



労働需要 日経センター「第44回 中期経済予測」における産業別実質国内生産額の2030年予測値から産業別のGDP予測値を計算。2010年以降の生産性向上ペースが2030年まで続いたと仮定し、GDPをその 生産性で割って産業別の需要を算出。

労働供給 国民経済計算における2007年以降の産業別就業者数の増減ベースが2030年まで続いたと仮定し、産業別の就業者数シェアを算出。そのシェアを全体の労働供給に乗じて、産業別の労働供給を算出。

出所:パーソル総合研究所×中央大学「労働市場の未来推計 2030」

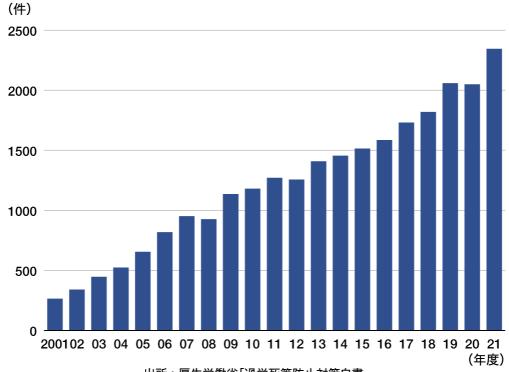


うつは一人でも発生したら大打撃となります



うつや心の病による休職は、療養や復帰まで時間がかかることが多く、軽度であれば 最低1ヶ月。症状によっては3ヶ月~半年の休職が妥当です。ストレスチェック制度 の導入後も精神障害に関わる労災請求件数は年々増加の一途を辿っています。

精神障害に関わる労災請求件数の推移

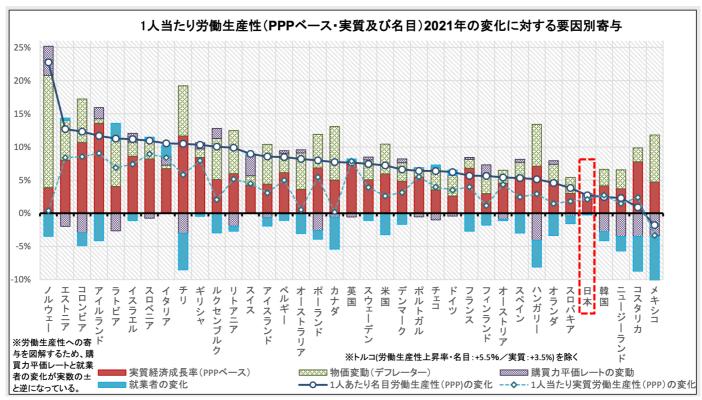




日本の生産性は非常に低い



短期的には、コロナの影響で低下していた労働生産性は回復基調にあります。しかし、 元々日本の労働生産性はOECD加盟国の中では、下位に属するため、見方を変えると とても伸びしろのある分野です。



出所:公益財団法人 日本生産性本部は、12月19日、「労働生産性の国際比較 2022」

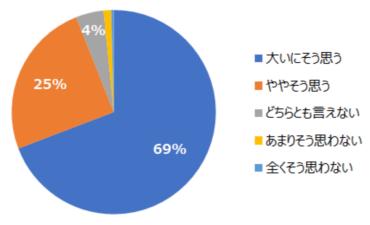


コミュニケーション不足と生産性は表裏一体

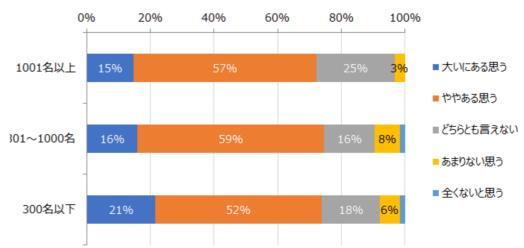


HR総研が行った調査では、94%もの人が社員間のコミュニケーション不足が業務の障害になることを挙げています。にもかかわらず、自社の社内コミュニケーションに課題があると答えた人は、7割以上にのぼりました。

社員間のコミュニケーション不足は 業務の障害になると思うか



自社の社内コミュニケーションに課題があるか



出所: HR総研: 社内コミュニケーションに関するアンケート2021 結果報告



何もしなければ採用コストは今後も増加が見込まれます



リクルートが運営する「就職未来研究所」の調査によると、一人当たりの採用コストは、新卒採用も中途採用も増加傾向にあります。今後も少子高齢化の影響で有効求人 倍率の増加が見込まれていることを考えると、採用コストは引き続き上がっていく可 能性が高いといえるでしょう。

採用コストの変化

新卒採用……2018年:71.5万円 → 2019年:93.6万円

中途採用……2018年:83万円 → 2019年:103.3万円

出所:「就職白書2022」就職未来研究所

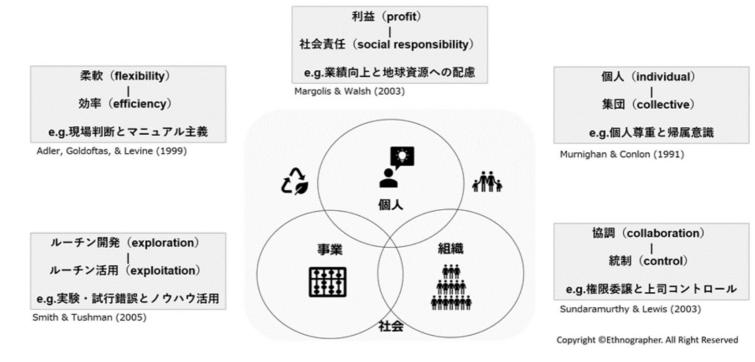


組織が大きくなると、様々な不整合がおこります



Googleが行った生産性の高いチームの共通点を見つける調査で、その最重要項目であると示された心理的安全性。人によって正解が違ってしまう「ダブル・バインド」。 賞罰や行動規範における「明確な構造」がない職場では、心理的安全性が高い状態にはなりえません。

経営組織の抱える多様なバラドックス例



出所:マイナビキャリアサーチ https://career-research.mynavi.jp/column/20220621 28458/

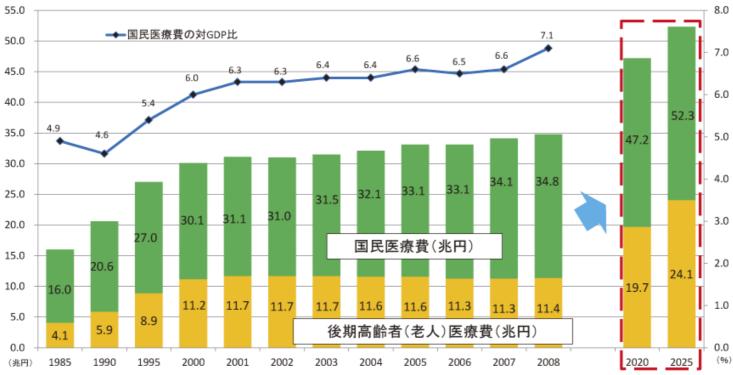


医療コストの増加は企業コストに反映されます



従業員が払う社会保険料は50%が会社負担です。社会保障給付費は、年々増加してきており、特に2025年問題と言われる、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年には、社会保障給付費の大幅な増加が見込まれまています。

我が国の国民医療費の推移



出所:総務省「ICT超高齢社会構想会議報告書」(厚生労働白書(平成24年)、厚生労働省 医療費等の将来見通し及び財政影響試算(平成22年10月)より)



投資しているのに人材が育たない



重回帰分析の結果より、企業の能力開発、組織開発、自己啓発に対する支援(人材育成投資)は、個人の主観的生産性に対して直接的な影響を与えていないことがわかっています。 各種の人材育成投資が生産性に直接寄与しない背景として、主流の人材育成投資が「特定のスキル・能力の向上」に主眼を置いていることが指摘されています。

企業の能力開発支援と主観的生産性の関係(重回帰分析の結果)

							変化の統計量						
		Ñ	開整済み 推	住定値の標	R2	乗変化					有意確率F		
モデル	R		R2 乗	準誤差 1.05642 1.05560			F 変化量 自由E		度 1 自由度 2		変化量		
1	.274ª	0.075	0.068			0.075			12	1597	0.00		
2	.280 ^b	0.078	0.070			0.003	1.828	1.828		1594	0.14		
			係数 ^a										
		非標準	化係数	標準化係数					共線性	の統計	量		
モデル		В	標準誤差	ベータ		t 値	値 有意研		許容度		VIF		
2	(定数)	2.861	0.20)4		14.03	1	0.000					
	性別ダミー_女性	0.318	0.09	8 0	.145	5.46	8	0.000	0.82	5	1.212		
	年齢	0.026	0.00	7 0	.175	3.98	31	0.000	0.30	0	3.331		
	学歴ダミー_大学院	0.178	0.0	'8 0	.061	2.27	2	0.023	0.80	7	1.240		
	日系・外資ダミー_外資	0.123	0.00	55 0	.055	1.88	89	0.059	0.69	3	1.443		
	業種ダミー_製造業	0.069	0.09	9 0	.030	1.17	1	0.242	0.88	8	1.126		
	職種ダミー_営業職	-0.088	0.0	3 -0	.035	-1.38	35	0.166	0.88	7	1.127		
	役職の有無ダミー_あり	0.042	0.00	55 0	.019	0.64	5	0.519	0.69	5	1.439		
	勤続年数	-0.016	0.00	7 -0	.091	-2.25	3	0.024	0.35	2	2.843		
	年収ダミー_年収600万以上	0.168	0.0	0 0	.076	2.39	2	0.017	0.56	7	1.764		
	転職経験の有無ダミー_あり	-0.174	0.0	1 -0	.080	-2.45	66	0.014	0.55	0	1.819		
	次世代リーダー候補ダミー_自覚あり	0.225	0.0	55 0	.089	3.48	80	0.001	0.88	2	1.134		
	プロティアンキャリア志向ダミー_平均以上	0.129	0.09	7 0	.059	2.27	9	0.023	0.86	3	1.158		
	自己啓発の支援	0.014	0.03	0 0	.017	0.48	33	0.629	0.44	5	2.249		
	能力開発の支援	-0.024	0.03	-0	.026	-0.68	86	0.493	0.40	5	2.469		
	組織開発の支援	0.055	0.03	32 0	.063	1.71	.1	0.087	0.43	3	2.312		

出所:公益財団法人 日本生産性本部 生産性総合研究センター 「日本企業の人材育成投資の実態と今後の方向性 ~人材育成に関する日米企業ヒアリング調査およびアンケート調査報告~!

見えている問題に対し、個別の対策をうつ

病気による欠勤 --- ストレスチェック強化

医療費高騰 健康診断受診勧奨・運動イベント

生産性の低下 エンゲージメントサーベイ導入

離職率増加 → 離職対策ソリューション導入

採用コストの増加 ―― 採用コンサル導入



企業全体の仕事は増え、従業員は忙しくなる一方

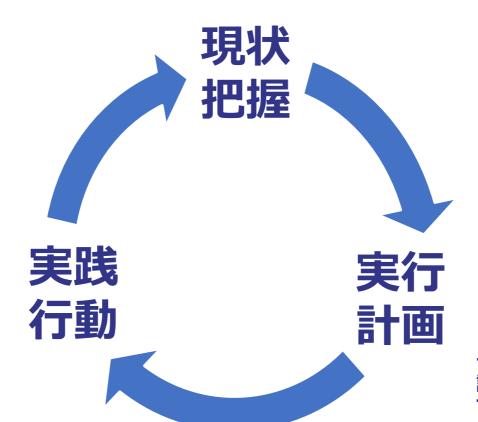
課題が解決できない理由



現状把握・実行計画・実践実行が回っていない

【全体を正しく把握できない】

仕事とプライベートを切り分けて分析していたり、Well-beingに関係する全体を正しく把握できていない。



【実行が不十分】

各施策を足し算しても、個人 は満たされない。結果、実行 されない。

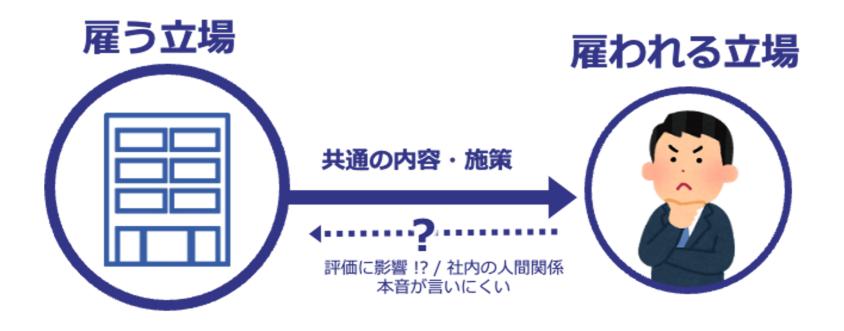
【計画が部分最適】

それぞれの部署が、それぞれの課題を解決するための計画を立てており、より本質的な「課題」設定がされていない。

SHDの立ち位置



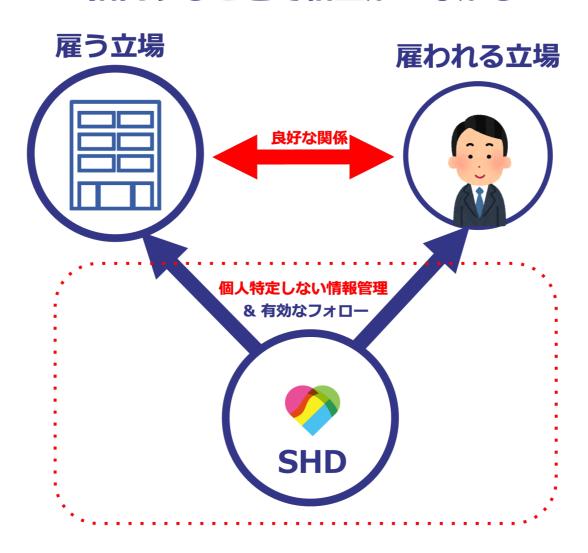
どうしても越えられない構造もある





第三者という立場で仕事とプライベートをつなぐ

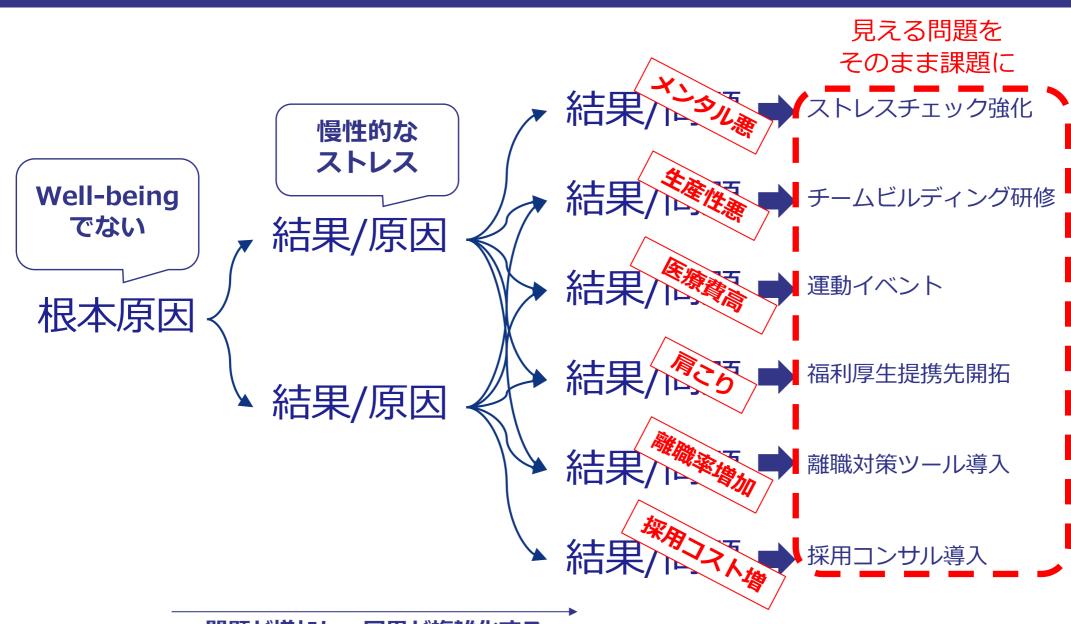
両方のメリットであるWell-beingを 指向することで相互がつながる



解決の方向性



本質的な「課題」にフォーカスする



問題が増加し、因果が複雑化する



本質的な課題に取り組むことで得られるメリットは?

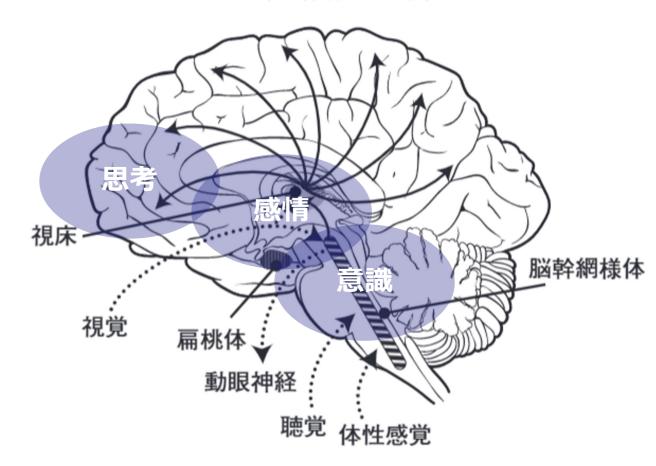
- 1、取り組みがシンプルになる
- 2、シンプルなので徹底度があがる
- 3、効果が多岐におよぶ



人間の本質(己)を知らないという共通課題

Well-beingでない という問題 → 人間関係という 共通課題 → 脳のメカニズムという 根本原因

すべては 思考・感情・意識 で説明できる RAS(網樣体賦活系)



様々な感覚 ···▶ RAS → 視床 → 大脳皮質に (網様体賦活系) 広く投射



現状把握・実行計画・実践実行をわます

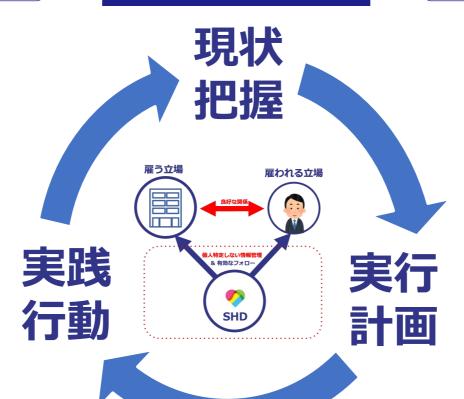
【全体を正しく把握する】

仕事とプライベートを切り分けず、 Well-being全体を正しく把握す

プライベートで

Happiness Book 活用

職場で



【実行は自発的】

個人と事業活動双方にWellbeingの実感が伴うため、実践が自発的になっていく。

学び+実践(職場・家庭)

【全体最適な計画】

企業にとっても個人にとっても 共通の本質的課題を設定することで、全体最適な計画を立てる

「共通課題」人間関係の改善

SHD提供するサービス



①ヒューンマンスキル育成研修プログラム

脳のメカニズムを通し、深い自己理解ができます。これは同時に他者理解にもつながりますので、仕事、プライベート双方で良い変化が起きます。

②健幸度®測定アプリ

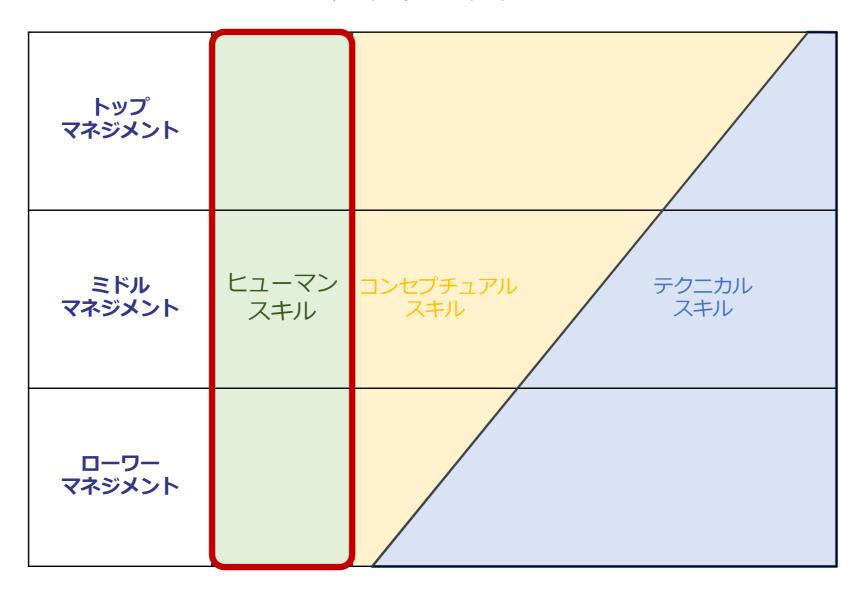
Well-being(幸福)をココロ・カラダ・キズナから測定し、支援する為のアプリです。オプション機能も充実しています。

SHDの研修



【研修】ヒューマンスキル育成計画

カッツモデル





【研修】精神発達=人材育成は点ではなく線で設計





【研修】ヒューマンスキル育成の継続研修 + 測定





【研修】5回シリーズのセミナー検証(概要)

■仮説

脳科学に基づいた複数回のセミナーは健幸への気付きを与え、自発的で長期的な意識・ 行動変容が図れる

■目的

メイン:人間の仕組みを知ることで、人間関係における究極の課題解決策を知る。

サ ブ:組織内で横、斜めの人的繋がりを作る。

■方法

- ①人間の脳のメカニズムを通し、人に共通する4つの定理を学ぶ
- ② 4 つの定理を満たしながら、自分が幸福になる方法を討議する
- ③自分から率先して意識を変えなくてはならないことに気づく

■各回イメージ

全5回 1時間/回 ウェビナー 終了後毎回アンケートにより質問を受け付け、疑問を持ち越さない

Day1 定理1:Well-being(健幸)とはココロ・カラダ・キズナが完全に満たされた状態

Day2 定理2:ココロの健康においては、思考と感情が一致した状態を求める

Day3 定理3:ココロには情動があり、共感のメカニズムが存在する

Day4 定理4:自分の情動記憶や人の情動は変えられない

Day5 自分がWell-beingに至るには、自分から変わることの必要性に気づく



【研修】5回シリーズのセミナー検証(結果)

内容:脳のメカニズムからWell-beingに至る方法を学ぶ 5回シリーズ

NPSによる検証

28名中 最高評価10 が39% (11名)

NPSの指数 + 3 9 %

<内訳>

9~10 推奨者

7~8 中立者

0~6 批評者

43% (12名)

53% (15名)

4% (1名)

SHDの健幸度®とは



「全体」を測定するWell-Being度(健幸度®)





Well-Being度(健幸度®)

定性データを 補正して活用

内部 <補正指数>

■パーソナリティ

外部

<補正指数>

- ■属性データ(アカウント開設時)
- ■ライフステージ

- ■カラダの健康
- 定量データ
- 定性データ(主訴)
- 健康満足度
- 行動変容ステージ
- ・ヘルスリテラシー
- 健康満足度
- ヘルズリテラジ
- ■ココロの健康
- 定量データ)
- 夕(主訴)
- 健康満足度
- 行動変容ステージ
- ヘルスリテラシー

- ■キズナの健康
 - 定量データ)
 - 定性データ(主訴)
 - 健康満足度
 - 行動変容ステージ
 - ・ヘルスリテラシ

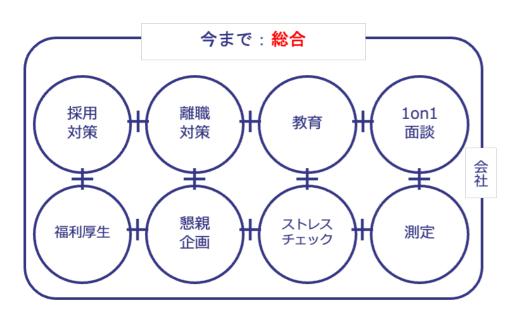


日常のイベントに紐づけて計画的に測定(案)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月
総合チェック(92問)	\bigcirc											
簡易チェック(26問)			0									
バランスチェック(7問)	0	0	0	\circ	0	\circ	0	0	\bigcirc	0	\circ	0
カラダの健康チェック(20問)					0					0		
カラダの数値チェック(11問)				0								
ーニーニー キズナの健康チェック(9問)							0					0
ココロの健康チェック(9問)						0					0	
	0							0				
パフォーマンス(1問)		0							\bigcirc			
企業オリジナル設問						\bigcirc				\bigcirc		
会社イベントの測定設問	\bigcirc		\bigcirc				\bigcirc					

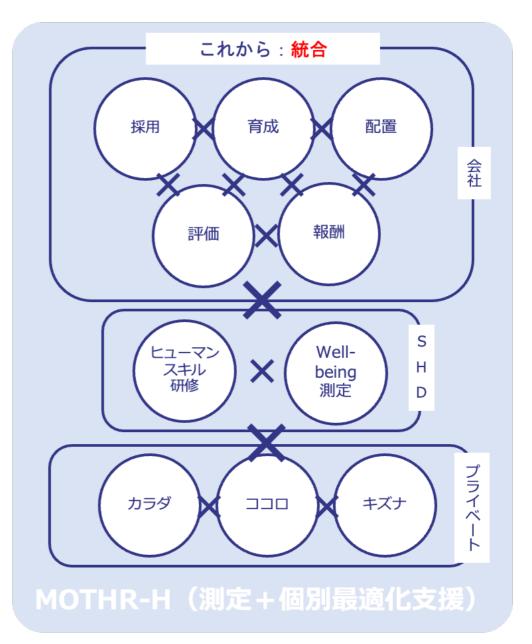


「追加」ではなく、「整える」という考え方





一つひとつは正しい けど忙しくなる一方で Well-beingではない





会社で行われている様々なイベントを整理

イベントコードとしてアプリに入力することで、 各イベントの健幸度向上の効果検証ができます。



SHDの「システム」

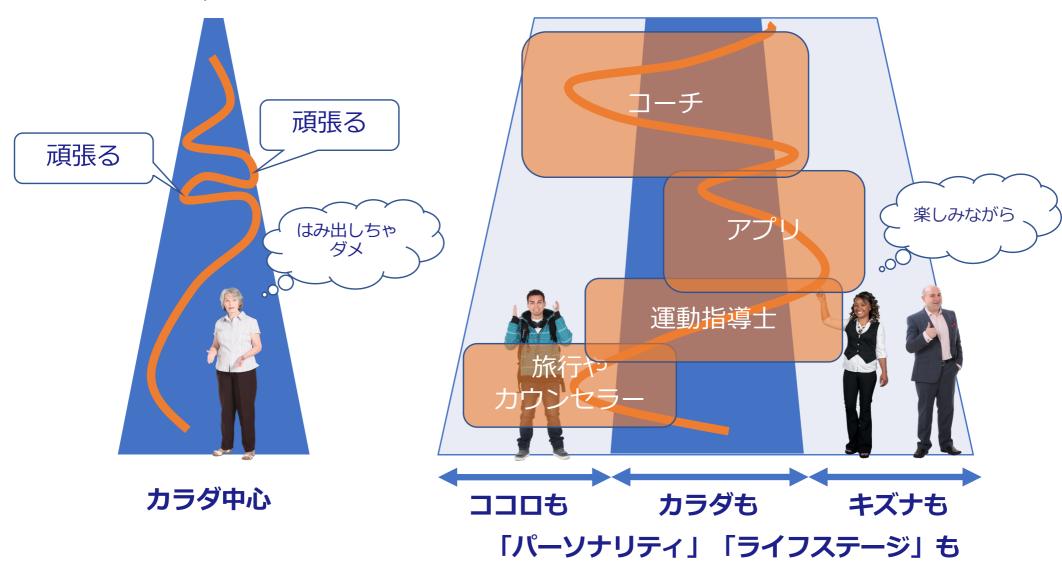
どこまでも個人によりそう 愛のあるアプローチ



健幸プラットフォームを開発

KGI[※]: 病気予防 **十** KGI[※]: Well-being(健<mark>幸</mark>)

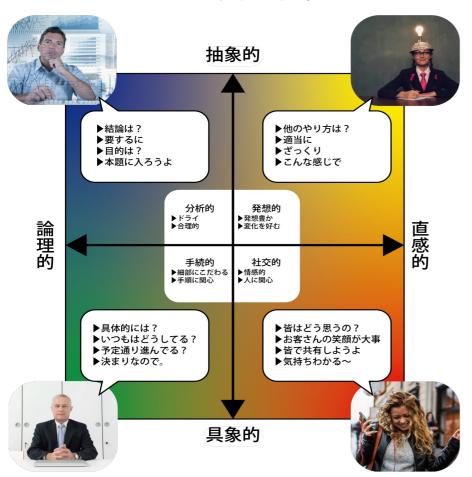
%KGI = Key Goal Indicator





最大の特徴:ヘルスケアにパーソナリティを加味した点

SHDのパーソナリティ診断



(健康課題) ココロ・カラダ・キズナ 15分類~



(外部環境) ライフステージ 4分類~



(内部環境) パーソナリティ 16分類~



10,000パターン以上



【どの様に】パーソナリティを加味した伝え方

<X 感じ方特性>

予防に焦点	促進に焦点
自分にとって、マイナスを防ぐ事に注 目する。	自分にとってよりプラスになる事に注 目する。
病気にならないように	もっと元気になれる様に
	• • •
	`

Aah Bah

<Y 認知特性>

青 (思考型)

知りたいのはWHY。目的、裏付け、客観的な数値。結論から。図やグラフで示すのが良い。

グラフでも明らかなように、とても効率的で す。

論理的にも筋が通ります。

緑(詳細型)

知りたいのはHOW。具体的に何をするのかの段取りを示すのが良い。プランの信頼性と安全性。

まずは今日準備をして、明日から本格的

全部で10分以内に収まるやり方です。

赤(社交型)

知りたいのはWHO。何をやるかよりも 誰とやるかの方に関心が行く。自分や周 囲の人がどう思っているのかの感想を伝 えると良い。

ご主人と一緒に取り組んでみたらどうで すか?

ご家族もきっと喜びますよ。

黄(オプション型)

知りたいのはWHAT。どれだけユニー クで新しいかに関心がある。イメージが 伝わればOK。マンネリはNG。

今までの常識を変える取組み方です。

最新の方法です。

〈Z 意思決定特性〉

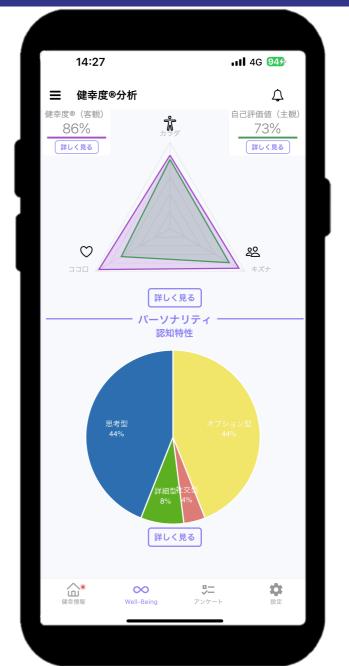
自己に基準	他者に基準
意思決定の際の基準を自分の中に求める。	意思決定の際の基準を自分の外に求める。
決められるのはあなただけです	周りの方々にも評価されますよ。
• • •	• • •

アプリ (機能)



ココロ・カラダ・キズナやパーソナリティを見える化







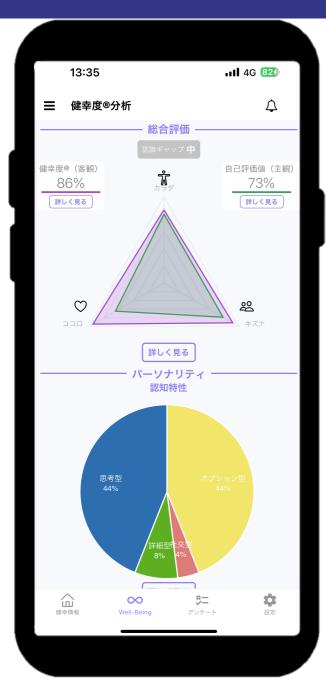
イベントコード登録で様々な活動を統合して測定







ココロ・カラダ・キズナのバランスや詳細も測定









他者比較で客観情報を入手







変化も期間によって捉え方が変わります









脳科学に基づいた高度なパーソナリティ分析



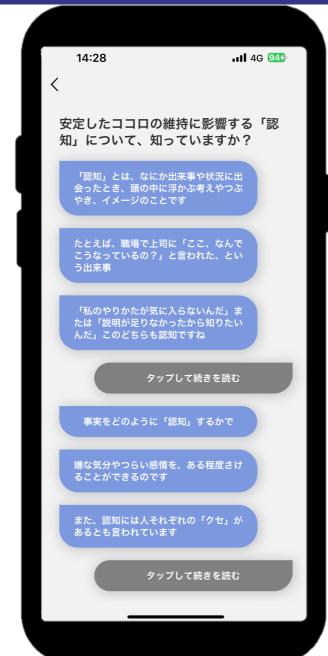






一人ひとりの性格まで加味した健幸情報

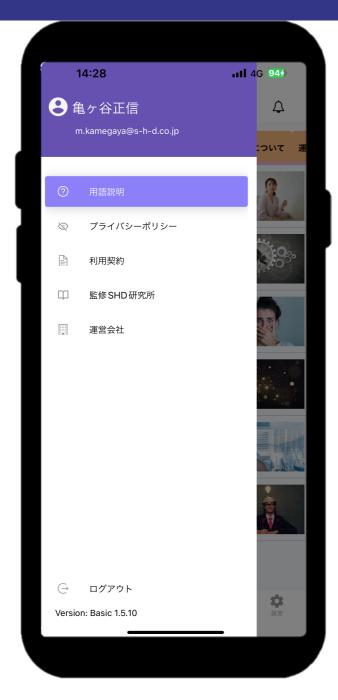








用語説明では基礎知識を学べます







ペーパー版をメール送信で取得できます



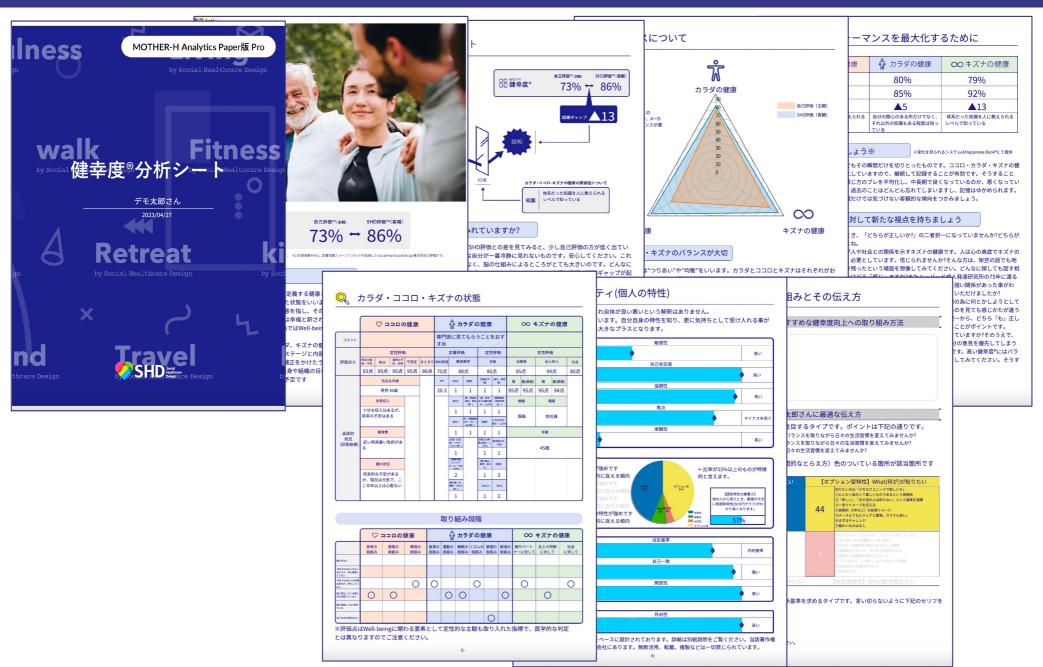








【システム】アプリからペーパー版も入手可能





【システム】詳細な分析と全体の健幸度がつながる

の カラダ・ココロ・キズナの状態

		♡ ⊐	⊐ □0.	健康			ທີ່ ກ	ラダの	○○ キズナの健康							
コメント						専門のすめ	医に見て	てもらう	もらうことをおす							
			定性評価	Б			定量評价	5	定性	評価			定性評価	15		
評価点※	特定の後 悔・不安	気分	漠然の不 安・恐怖	不安定	まとまり	BMI評価	数值	異常	ŧ	訴	近	親者	友人	知人	社会	
	93点	95点	95点	95点	96点	70点	88	点	95	点	95	点	94	点	80点	
		性別。	&年齢			ВМІ	(血圧)	[尿酸]	[胃腸の不 調]	[疲れ・倦怠 感]	質	量(頻度)	質	量(頻度)		
		男性	45歳			20.3	1	1	1	1	95点	95点	95点	94点		
		世帯収入					[視力]	「野・尿路系 (蛋白・鮮血 等)]	[同、背中、 または壁の路 み・しびれ]	[睡眠障害 (肉体的理 由)]	婚姻		職業			
		収入はあ 不安はあ					1	1	1	1		花婚	会社員			
	初末の	下女はめ	ବ				[職力]	[肝・膵臓機能 (AST・ALT・γ -GDP等)]	[頭痛]	[上記以外の 痛み・しびれ]	15	切	云			
具体的		養育費					1	1	1	1			年齢			
状況 (回答結果)	近い将る	来重い負	担があ				[血液 (白血 球・ヘモグ ロビン等)]		[四肢又は関 節の痛み・し びれ]	[身体能力の 欠如]			45歳			
	9					1			1	1			45原艾			
		親の状況					旧質代謝 (コレステ ロール・中性		[胸の痛み、 動悸・息切 れ]	[肥満]						
		な不安か					2		1	3						
		生は元気 以上は心					時代端(血 糖値・HbAlc 等)		[めまい]	(老化)						
							1		1	2						

取り組み段階

	♡ =	ココロの	建康		ŵ	カラ	ダの健	∞ キズナの健康				
	思考の 取組み	感情の 取組み	環境の 取組み	食事の 取組み	運動の取組み	睡眠の 取組み	リズムの 取組み	禁煙の 取組み		親やパート ナーに対して	友人や同僚 に対して	社会に対して
関心がない												
何をすればよいかよく 分からず、何も実施し ていない												
何をすればよいか知識 はあるが、何もしてい ない			0	0			0			0		0
既に実行している事も あるが続いていない	0	0			0	0			0		0	
既に実施しており続け ている												
当てはまる項目はない								0				

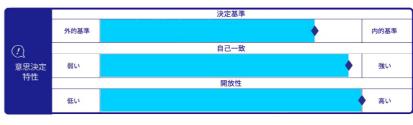
※評価点はWell-beingに関わる要素として定性的な主観も取り入れた指標で、医学的な判定 とは異なりますのでご注意ください。

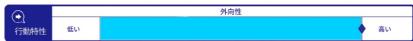
-5-

あくまでも特徴ですので、これ自体が良い悪いという解釈はありません。 人はそれぞれの特性を持っています。自分自身の特性を知り、更に気持ちとして受け入れる事が できれば、キズナの健康にも大きなプラスとなります。





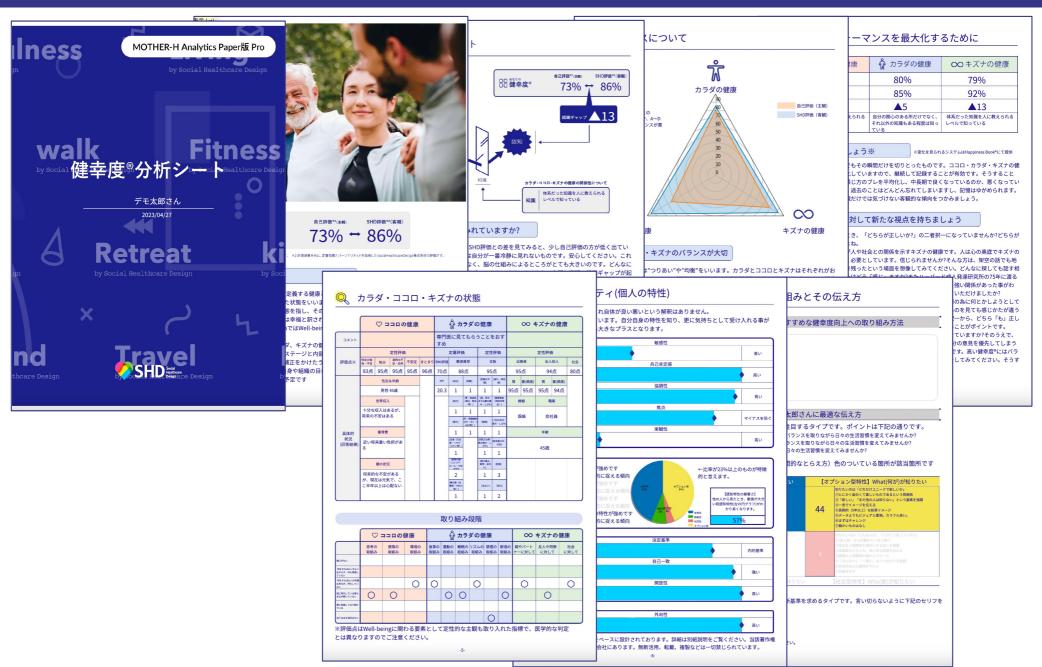




※パーソナリティの分析は学術をベースに設計されております。詳細は別紙説明をご覧ください。当該著作権 はSocial Healthcare Design株式会社にあります。無断活用、転載、複製などは一切禁じられています。



【システム】アプリからペーパー版も入手可能

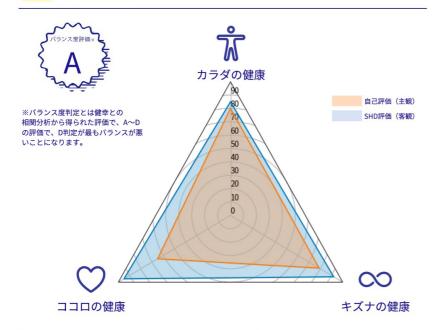




▽【システム】 1 on 1 などでは粒度をあげて



△ バランスについて



ココロ・カラダ・キズナのバランスが大切

「バランス」とは"つりあい"や"均衡"をいいます。カラダとココロとキズナはそれぞれがお互いに影響しあっています。例えば、病気(カラダの健康)をすれば、気分(ココロの健康)や、友人との付き合い(キズナの健康)にも影響します。実はこれがストレスをためずに習慣を変化させていく事につながるのです。

SHD研究所の分析によれば、健幸度®の自己評価が高い人ほどココロ・カラダ・キズナの各健康満足度についてバランスが良い事がわかっています。特に健幸度®の自己評価が80%以上の人にはココロ・カラダ・キズナの各健康満足度のバランスが良い人しかいない事がわかっています。つまり、ココロ、カラダ、キズナの健康どれか一つだけで健幸な状態にたどり着けるわけではないのです。ココロ、カラダ、キズナは相互に影響しあっているので、バランスを取りながら改善していく必要があります。

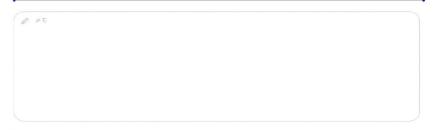
基礎代謝も落ちていく年齢です。外部環境もいろいろと変化が多くなります。50代に向けて、自分にとってのWell-beingな状態とは何なのか。ココロ・カラダ・キズナの健康がそれぞれどんな状態なのか、今一度見つめ直す事から始めましょう。

-3-



おすすめな取り組みとその伝え方

デモ太郎さんにおすすめな健幸度向上への取り組み方法



デモ太郎さんに最適な伝え方

- (1) 「損失回避」「予防」に注目するタイプです。ポイントは下記の通りです。 まさかの病気にならないように、バランスを取りながら日々の生活習慣を変えてみませんか? 大切なものを失わないように、バランスを取りながら日々の生活習慣を変えてみませんか? 大切な人を悲しませないように、日々の生活習慣を変えてみませんか?
- (2) 認知においての特性(瞬間的なとらえ方)色のついている箇所が該当箇所です

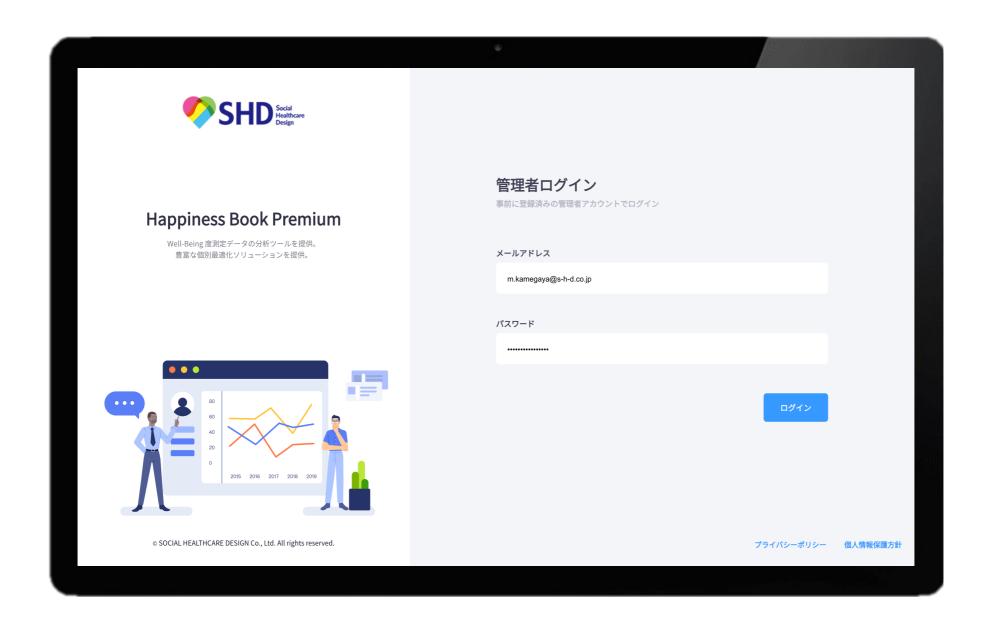
44	考型特性	्रित 44	プション型特性】What(何か)が知りたい 知りたいのは「どれだけユニークで新しいか」 のとにかく配合くて楽しいものであるという雰囲気 ②「新しい」「まだ他の人は知らない」という要素を強調 ③一言でイメージを伝える の長期的(5年以上)な結果イメージ ⑤データよりもビジュアル重視。カラフル良い。 のまずはチャレンジ (を聞かいものはなし
8	知りたいのは「行動計画」「信頼性」「安全性」 ①県体例で「信頼性」を伝える ②過去の実績 ②現取ウヤスケジュールに無理がない事 ③具体的な手順が見えて安心である ③サポート・保護がある ので相え業を明示 ②さらに細かい具体的信頼性	4	知りたいのは「どんな人か」「人がどう思っているか」 ①個人名)さんが贈めていると紹介 ②身近な人間関係を良好にする為にを強調 ③体験観なども入れ、個人的な感想を伝える ④課題も人間関係の面からアピール ⑤「みんなで」「一緒に」などつながりを強調 ⑥具体的な人の感想を中心に ⑦共感を示す

(3) 意思決定の際、自分の中に判断基準を求めるタイプです。言い切らないように下記のセリフを参考にしてください。

決められるのはあなただけです。 考えてみてはいかがでしょうか。 あなた次第です。 考えて頂けたらと思います。 お試しになってご自分で判断してください。 どの様に思われますか? 判断なさる際に、お役に立つ情報です。 サポート画面(機能)

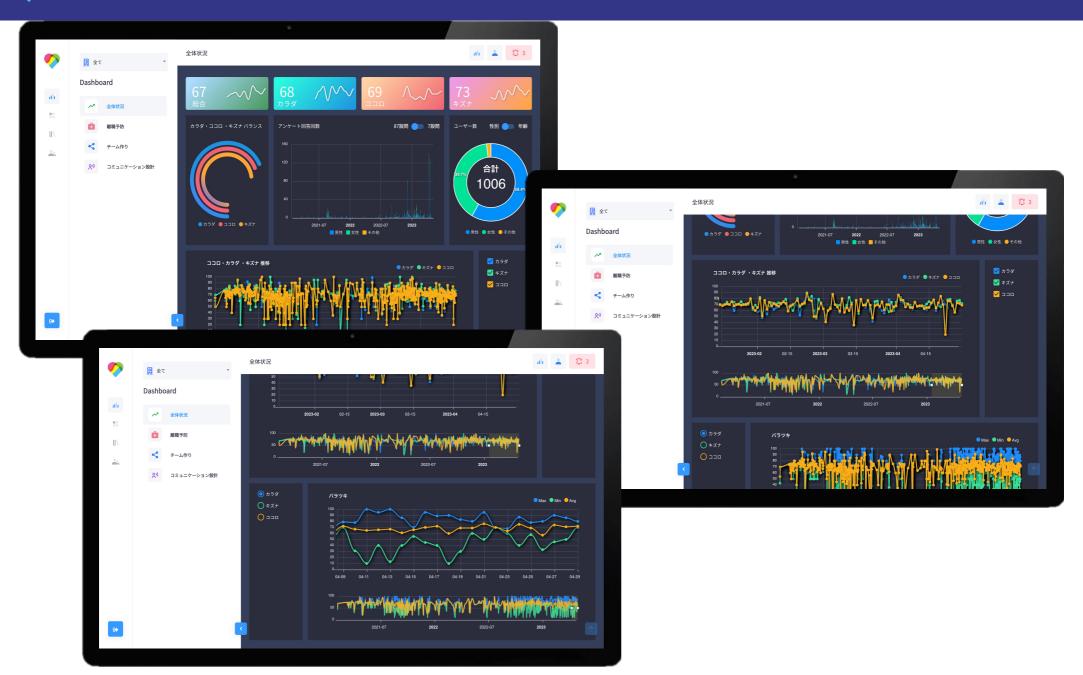


【システム】健幸サポート画面





【システム】ココロ・カラダ・キズナの満足度を見える化



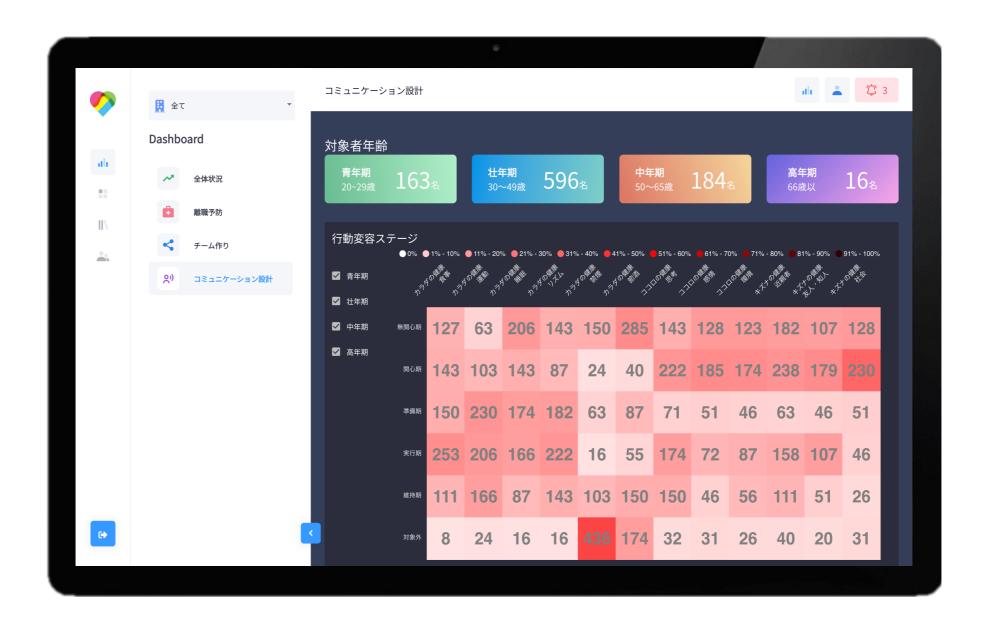


【システム】パーソナリティも見える化



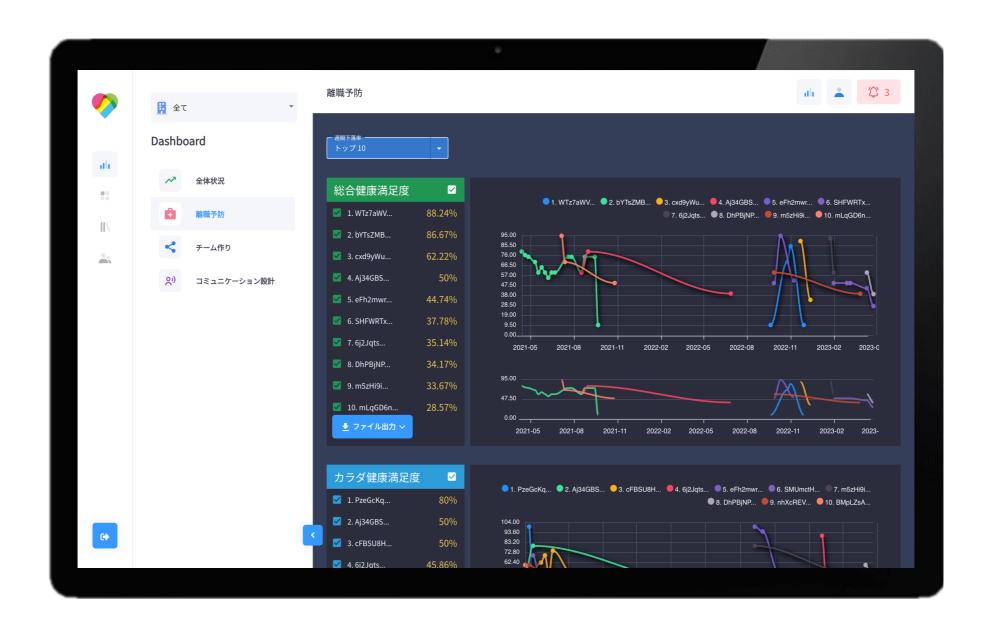


【システム】行動変容ステージを見える化



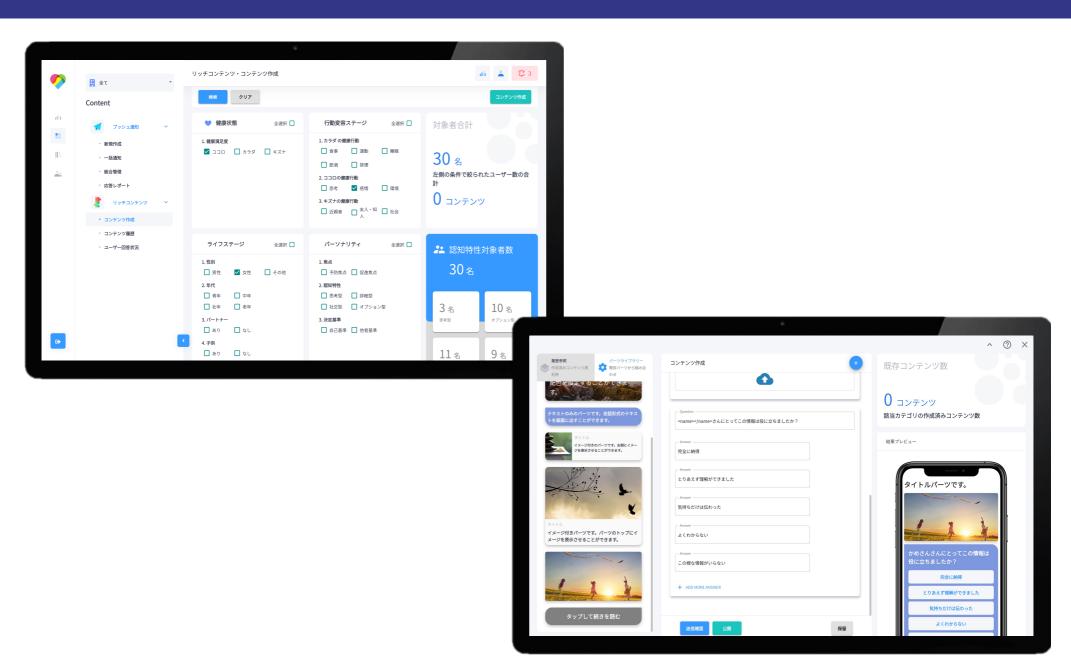


【システム】急激に悪化した人の抽出



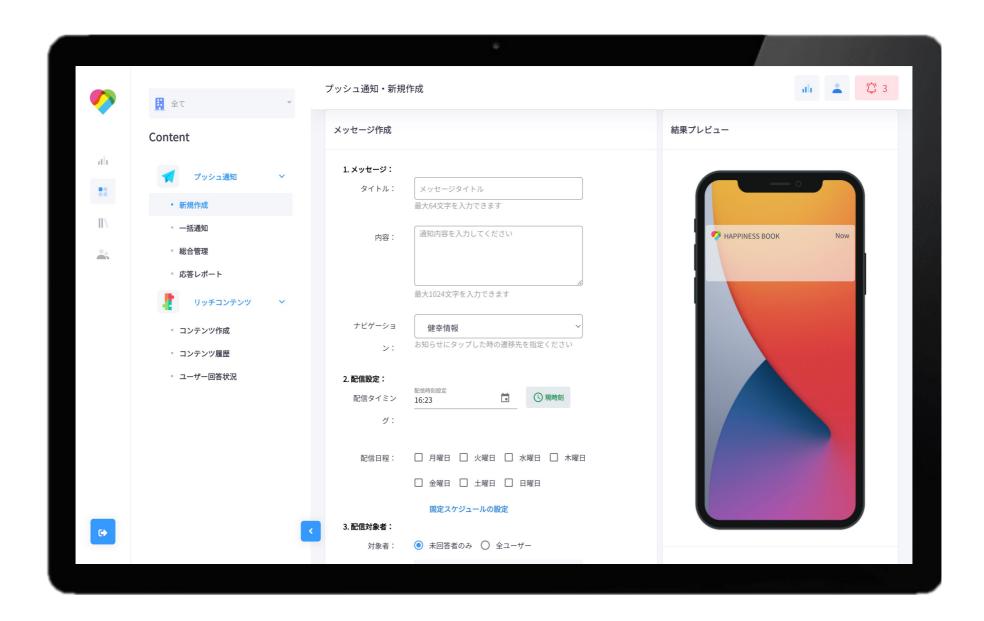


【システム】個別最適な健幸コンテンツ作成画面



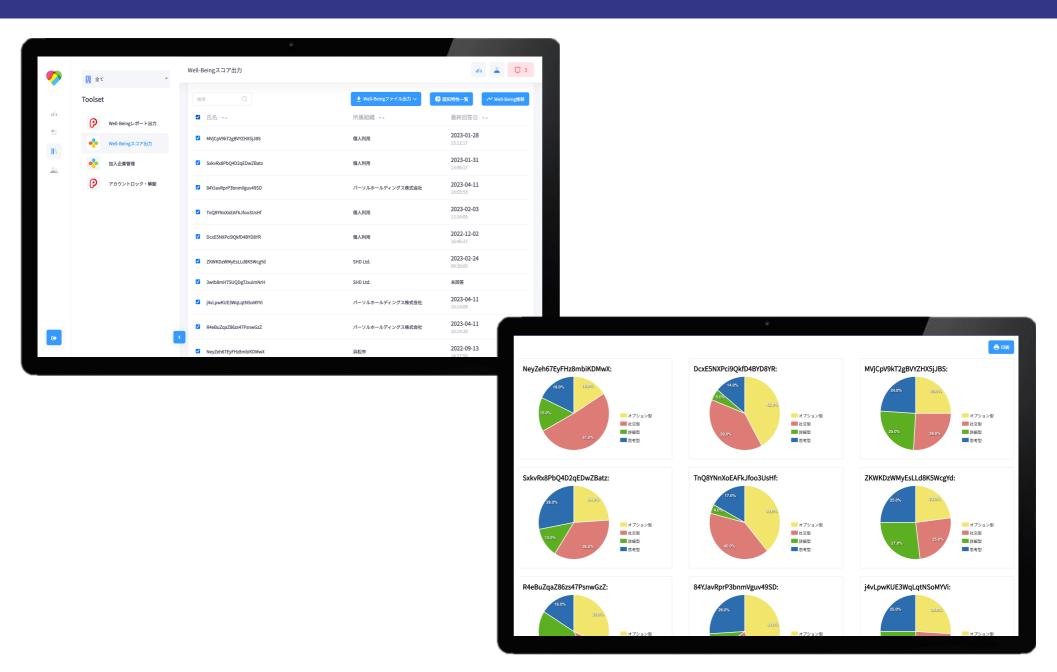


【システム】プッシュ通知作成画面





【システム】研修参加者の認知特性などもわかります





【システム】出力されるデータは構造化されています

4	Α	В	С	D	E	F	G	Н	1	J	K	L	M	N	0	P	Q	R	S	Т	U	V	W
1			アンケート	属	性		ライフ	ステージ				足度				康度			認識ギ	ヤップ			
2		回答日の前						<u>_</u>	観		客観												
3	user_id	アンケート 回答日	日から7日 間の平均歩 数	年齢	性別	職業	婚姻	子供の養育	親の介護	総合健康満 足度	ココロの健康満足度	カラダの健 康満足度	キズナの健 康満足度	健幸度(総 合)	ココロの健康度	カラダの健 康度	キズナの健 康度	総合	ココロの健康	カラダの健 康	キズナの健 康	敏感性	自己肯定愿
4	1018	2023-01-28	0	32	2	1	1	5	3	60	60	60	60	77	72	81	80	17	-12	-21	-20	84	4 7
5		2023-01-31	0	44		_		1		, , ,								11		-20	-9		2 2
6		2023-04-11	0	38			_	_										0			11		2 4
7		2023-02-03 2022-12-02	0	37 34		_		_										12			12 -12	92	
9		2022-12-02	0			_	_	_	-						-			11			20		i2
10		2023-04-11	0					_										13			-25		4
	X	٧	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	Al	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT
1		'			パーソナリテ		AD	AL	Al	AG	All	AI AI			AL.	Alvi		口の健康度(AQ		ダの健康度	
	感じ方特性					口特性			意思決定特性	<u>±</u>	行動特性	1	ヘルスリ	テラシー				定性評価	(MC)		定量		定性評価
3	協調性	焦点	楽観性	思考型比率 (%)	詳細型比率	社交型比率	オプション 型比率 (%)	決定基準	自己一致	開放性	外向性	総合	ココロの健 康	カラダの健 康	キズナの健 康	特定の後 悔・不安	気分	漠然の不 安・恐怖	不安定	まとまり	BMI評価	数値異常	
4	60	32	16	24	25	26	25	67	7 60	75	41	4	4	4	4	60	65	65	65	96	80	9	90
5	78													5	_			65			80		38 10
6	44												7	4	,						80		90 9
8	91 91									-				2	_						75 80		34 9 32 10
9	32													2				95			87		50 7
10	78												3	3				65			88		38 9
11	44		21	16	41	11	22		2 20	20	21	200	2	2	2	50	0.5	0.5	0.5	0.0	100		0 00
4	AV	AW	AX	AY	AZ	BA	BB	BC	BD	BE	BF	BG	ВН	BI	BJ	BK	BL	BM	BN	ВО	BP	BQ	BR
	の健康度(定性評価	(点)		BMI評価		T				数値異常				カラダの倒	■ 康度(品)					±	訴		
	文人・知人	社会	身長	体重	ВМІ	血圧	視力	聴力	血液(白血 球・^モク゚ロ ピン等)	脂質代謝	糖代謝(血 糖値・ HbA1c)	尿酸	腎・尿路系 (蛋白・鮮 血等)	肝・膵臓機 能(AST・ ALT・y- GDP等)	胃腸の不調	肩、背中、 または腰の 痛み・しび れ	頭痛	四肢又は関 節の痛み・ しびれ	胸の痛み、 動悸・息切 れ	めまい	疲れ・倦怠感	睡眠障害 (肉体的理 由)	
4	76	55	160	52	20) 1	. 1	. 1	1 1		. 1	1	1	1	. 2		2	2	2	3	2		2
5	78													1	_	_		1		1	1		1
6	60	25	159	50	20	1	. 1	. 1	. 1	1 1	. 1	1	1	1	. 1	. 2	1	1	1	1	2		1
7	86							. 1	-	1 3	_	_	_	1	_	-	_	1	_	1	2		2
9	78 68							-	-	1 1			_	1 2	-	_		1 2	_	1 2	1 2		1
10	94									1 1				2	_	-	_	1		1	2		1
11	04	50	173	C.E.	22	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-		1
	BS	BT	BU	BV	BW	BX	BY	BZ	CA	СВ	CC	CD	CE	CF	CG	CH	CI	CJ	CK	CL	CM	_	CN
1				100		ズナの健康度		11.0			-				容ステージ					-	パフォーマ	ンス	
2	身体能力の 欠如	肥満	老化	五 1番近い人 との関係 (質良)	親者 1番身近な 人との関係 (頻度高)	2番目に近	「IIVLLの田		: 思考	感情	環境	食事	運動	睡眠	ダの健康 生活リズム	禁煙	節酒	近親者	キズナの健康 友人・知人	社会	生産性		
4	2	2 :	2 2	2 1	1	1		3	4	2	2	2 4	1 2	2 4	4 4	4	5 5	5 5	5 5	5 2		90	
5	1		1 1	. 2	2		2	2		5		4 3			3			5 4		1 4		77	
6	1		2 1	-			3		-	1		4 5	1		4	4 (-			,		80	
7	1	1 :	1 1	1 1	1	2	2	1	-	•	-	5 4	1 3	3 4	4	4 (5 6		-	-		100	
		.												.									
8	1	1 :	1 1	1 1	_		_	_	-	5	-	0 4			4 4		-		-			95	
8 9 10	1 1 1		1 1 2 1 2 2	1 3	3	3	3	2	3	2	1	0 4 2 2 2 5	2 2	2 2	2		2 2	! :	3	3 2		95 77 72	

SHDの研究チーム



研究所メンバー

SHD研究所

* SHD



亀ヶ谷正信

SHD研究所 理事長
SHD(株) 代表取締役
株式会社カメガヤ 取締役



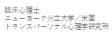
医療アドバイザー 横山太郎 医療法人社団 晃徳会 横山医院 医院長 神奈川の地域医療を考える会



システムAI設計アドバイザー 小塩篤史

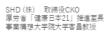


臨床心理 アドバイザー 富士見ユキオ





ヘルスケア 全体監修 西根英一





臨床心理 アドバイザー 岸原 千雅子

臨床心理士 英国IFA認定アロマセラピスト 日本ホリスティック医学協会理事



感情特性・研修アドバイザー 三森朋宏

SixSeconds Certified EQ Advanced EQGA公認 EQ7 ロファイラー ストラクチャード コミュニケーション協会



アルゴリズムアドバイザー 呂学能

横浜国立大学特別研究員 管理栄養士(中国)獣医 全日本中国人留学生学友会副会長



言語特性アドバイザー 犬飼江梨子

マーケティングリサーチャー 心理プロファイラー、米国NLP マスタープラクティショナー等



知財戦略アドバイザー 伏見靖

1級知的財産管理技能士 知的財産アナリスト/行政書士 日本機械学会/日本知財学会



思考・行動特性アドバイザー 中村泰彦

ITF (国際トレーナー)#116 エマジェネティックスITN認定 マスターアソシエイト



健康都市・街づくりアドバイザー 原裕介

|株式会社デザインキット代表 千葉大学特任准教授 一級建築士

具体的介入支援アドバイザー





Our Philosophy

Mission

世界の未病領域で、個人と社会の幸せをつなぐイノベーションを創造します。

Vision

「未病」における動機づけプラットフォームを提供し、 未病産業を2倍に拡大させる。

Value

パーソナリティを使った動機づけで、圧倒的な行動変容率を実現する。

Communication Word FUN! NEW! LOVE!

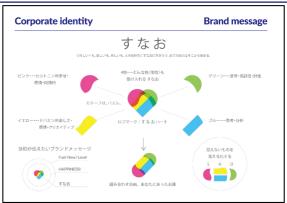


会社概況

名称	Social Healthcare Design 株式会社							
本社所在地	神奈川県横浜市中区日ノ出町1丁目36番404B							
設立	2018年1月							
取締役	CEO: 亀ヶ谷正信、CKO: 西根英一							
資本金	1,000万円							
株式市場	未上場							
事業内容	一大未病産業成立のためのソリューション開発							
ホームページ	https://s-h-d.co.jp/							
知財	〈特許権:パーソナリティを加味した個別最適化動機 特許第6450986号 特許第7133207号 〈特許申請中:パーソナリティを加味した健幸度®の調 特許第7250310号 〈特許申請中:パーソナリティを加味したグループ機 〈商標〉「健幸度」「Happienss Book」	則定>						
		Corporate identity	Brand message					

ロゴ・CI等









d¥ 7 Mindfulness

Living
by Social Healthcare

Social Healthcare Design by Soci

ore Stolath A Walk by Social Health

S WELD L B BING